

2020年3月期第2四半期決算説明資料

開催日：2019年10月28日（月）

出席者：代表執行役副社長 文挾 誠一

代表執行役副社長 守谷 誠二

常務執行役 大槻 陸夫

説明資料：2020年3月期第2四半期決算説明資料

【2020年3月期第2四半期連結決算の概要】

- まず、パワーポイントのスライド1をご覧ください。
- 売上高は、東京電力グループの販売電力量が減少したものの、燃料費調整額が増加したことなどにより増収となりました。
- また、経常損益は燃料費調整制度の期ずれ影響が好転したことや、グループ全社を挙げた継続的なコスト削減などにより増益となりました。
- 経常損益、四半期純損益ともに7年連続で黒字を確保いたしました。
- さらに、当期は特別損益として、台風15号による災害特別損失等を新たに計上いたしました。
- なお、今期中間配当につきましては、大変申し訳なく思っておりますが、無配とさせていただき、2020年3月期末についても無配とさせていただく予定です。
- 具体的な連結決算の数字については、スライド2をご覧ください。
- 売上高は、前年同期比で3.9%増の3兆1,756億円と増収、経常損益は、18.7%増の2,499億円と増益となり、特別損益を加えた四半期純損益は、4,206億円と増益になりました。

【セグメント別のポイント】

- スライド3と4では、各セグメント別の業績をご説明いたします。
- まず、東京電力ホールディングスの業績です。
- 売上高は、東京電力エネルギーパートナーへの卸電力販売の減少などにより、前年同期比183億円減の3,731億円となりました。
- また、経常利益は110億円減の1,623億円となりました。
- 次に、東京電力フュエル&パワーの業績です。

- 売上高は、本年4月から火力発電事業等がJ E R Aに承継されたことなどにより前年同期比9,475億円減の43億円となりました。
- 一方、経常利益は、持分法適用会社であるJ E R Aにおいて、燃料費調整制度の期ずれ影響の好転により増益となったことなどから532億円増の584億円となりました。
- 続いて、東京電力パワーグリッドの業績です。
- 売上高は、託送収益が減少したことなどから、前年同期比122億円減の8,629億円となりました。
- 一方、経常利益は、修繕費・減価償却費などが減少したことなどから、28億円増の1,199億円となりました。
- 最後に、東京電力エナジーパートナーの業績です。
- 売上高は、販売電力量の減少があったものの、燃料費調整制度による販売単価の上昇などにより、前年同期比449億円増の2兆9,008億円となりました。
- 一方、経常利益は、競争激化や昨年度の猛暑の反動減などにより、107億円減の434億円となりました。
- なお、連結及びセグメント別の前年同期比較の資料をスライド9以降に参考として添付しております。

【連結特別損益の概要】

- 次に連結特別損益についてご説明します。スライド5をご覧ください。
- 台風15号による影響については、後ほど詳細をご説明させていただきますが、まずは全体像をお示しいたします。
- 特別利益は合計で3,672億円を計上いたしました。
- 当期、新たに原子力損害賠償・廃炉等支援機構からの資金交付金540億円を計上しております。災害損失引当金戻入額1,135億円ならびに持分変動利益1,997億円は前期に計上したものととなります。
- 一方、特別損失は1,664億円を計上いたしました。
- 当期、新たに台風15号により被災した資産の復旧等に要する費用を災害特別損失及び財産偶発損として、合計118億円を計上しております。原子力損害賠償費は前期の計上分に300億円を追加計上し、589億円を計上しております。福島第二廃止損失956億円は前期に計上したものととなります。
- これにより、特別損益は2,007億円の利益となりました。

【台風による災害特別損失及び財産偶発損】

- 続いて、スライド6をご覧ください。
- 2019年9月に発生した台風15号による災害特別損失及び財産偶発損についてご説明させていただきます。
- 当期、新たに台風15号により被災した資産の復旧等に要する費用118億円を災害特別損失に計上しております。
- 主に被災した設備を復旧するための修繕費や、撤去するための除却費用等に61億円、他電力からの応援に関する費用等に55億円を計上したものととなります。
- また、滅失した電柱などの資産簿価相当を財産偶発損として計上しております。
- なお、2019年10月に発生した台風19号による被害は、当期においては計上しておりませんが、被害状況を確認の上、必要に応じて第3四半期決算にて計上する見込みです。

【連結財政状態の概要】

- 続いて、連結財政状態について、スライド7をご覧ください。
- 自己資本比率は、前年度末より4.4ポイント改善し27.0%となりました。これは、四半期純利益が引き続き黒字であったことで純資産残高が増加したことに加え、東京電力フュエル&パワーの借入金をJERAへ承継したことなどにより、負債残高が減少したことによるものです。

【2020年3月期業績予想】

- 最後に、2020年3月期の業績予想については、引き続き、未定としております。

【参考資料（スライド8以降）、補足資料（スライド14以降）】

- スライド8以降は参考資料および補足資料です。

以 上